学校番号	405

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭総合」　（実教出版）						
副教材等	ニューライブラリー家庭科　資料＋成分表 2026　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

a. 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身に着けるようにする。
b. 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を通して生活の課題を解決する力を養う。
c. 様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に着けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に着けている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築にむけて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	衣生活をつくる	・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣服の選択から管理まで ・持続可能な衣生活をつくる ・衣服の構造・デザイン	a: 衣服の素材の種類について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。衣服の購入から破棄まで計画的な衣生活を営む知識を身に着けている。材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術をみにつけ、日常着の管理ができる。 b:衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え、判断することができる。衣服材料・整理についての基礎的な知識を身に着け、実生活での管理を実践することができる。 c:自分の衣生活をとりまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上に取り組もうとする。基礎縫いの確認のための実習や衣服調査などにおいて、積極的に取り組もうとする。	・定期考査・実技テスト・製作作品	・定期考査・実習レポート・グループワーク	・授業観察・ワークシート・ファイル提出

2学期	食生活をつくる	・日本の食文化の形成 ・私たちの食文化 ・栄養と食品のかかわり ・食品の選び方と安全 ・食事の計画と調理 ・これからの食生活を考える	a:日本の食文化の成り立ちについて特徴を理解できる。食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境について、現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術をみにつけ、それを実際の食生活に活かすことができる。食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。栄養・食品・調理に関する基本的な知識を生かしながら献立を作成することができる。調理実習を通して、日常の食事作りに必要な調理技術をみにつけ、献立作成～後片付けまでに一連の流れを計画し実践できる。 b:自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理とのかんけいにおいて、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算、献立作成など、実際の食事作りにむけての判断ができる。 c:自分自身の食生活に関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。栄養と食品、調理の関係において、科学的な視点を持って、知識を深めようとしている。調理実習においては、積極的に参加し、取り組もうとしている。	・定期考査・実技テスト・製作作品	・定期考査・実習レポート・グループワーク	・授業観察・ワークシート・ファイル提出

3学期	消費行動を考える	・消費行動と意思決定 ・消費生活の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ・ライフスタイルと環境	a:消費行動について、様々な情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 消費行動における意思決定の過程とその重要性を理解でき、また契約についての知識を身に着けている。消費者の権利と責任について理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できる。家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身に着けている。 b:消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。消費者の権利と責任を考えることができる。消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題を見つけ、解決の方向性を判断することができる。 c:自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環とのかかわり方について、積極的に理解しようとする。	・定期考査・実技テスト・製作作品	・定期考査・実習レポート・グループワーク	・授業観察・ワークシート・ファイル提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度